

# 女性活躍の機会を もっと広げたい

熊野 康子

(株)フジタ



## 施工者目線で考える

元は電線会社で道路用止水材の研究開発をしていました。“もっと深く、広く、建材を研究したい”という思いが募り、28歳でフジタ工業(現・フジタ)に転職しました。技術研究所の配属となり、塗料や樹脂製の型枠、自然に消える墨出し用のペンなど、さまざまな建材や道具の開発に携わりました。製品の実用化ができる度に嬉しい気持ちになりましたね。若い頃は研究や家事、育児にと、いつも何かに追われていた感じでした。

入社15年後に、工事現場での指導や技術提案を行う、本社技術部へ異動しました。防水材や防水工法はそこで本格的に覚えました。

防水工事は、どんなに性能が良い材料でも、適切に施工しなければ、十分な能力を発揮できません。そういう意味では建築

材料は製造開発と施工者とのチームワークによって成り立つものだ強くと感じました。

## チャンスがある時代

2013年度に、女性が働きやすい建設業界にしていくため、日本建築仕上学会企画事業委員会内に「女性ネットワークの会」を立ち上げました。子供を育てながら働く大変さを身にしみて感じていましたし、その時は世の中で女性の管理職を増やそうという動きが進んでいました。発足当時のメンバーは5人。日本建築仕上学会の学会誌『FINEX』への連載が初めての活動でした。

当時、女性技術者は大変少なく、会社の枠を越えた交流が必要と考えました。

定年間近になって、技術センターに再配属となり、また研究開発に携わるようになりました。還暦を過ぎて研究や開発に携わっているとは、入社当時は

夢にも思いませんでした。せっかく研究を続けるチャンスに恵まれたのですから、残りの時間、精一杯取り組んでいきたいと思っています。

日本建築仕上学会女性ネットワークの会は、今年は会員が30人まで増え9年間の活動記録を展示するパネル展も開催しました。来年は10周年ですので、まだまだやりたいイベントがたくさんあります。

また、建設業界の女性には、自身が中心となってデジタル化を推進して行ってほしいです。意見をもち、どんどん提案し、業務の革新を行える立場になってほしいと思いますし、それが可能な時代だと思います。

熊野 康子さん yasuko kumano

血液型：O型

星座：かに座

趣味：作詞・作曲と着物の着付け

出身：北海道札幌市